

45年の歴史の重み、さらに次へ！

●大宮浦高会 創立45周年記念総会・懇親会へ！

昨夜は「大宮浦高会 創立45周年記念総会・懇親会」(今村正道会長(13回))に出席させていただきました。チャリティ茶会を終えて、道具の片付けを終えると16時半を過ぎてしまい息子に車で送ってもらったのですが40分以上の道程で、新道山家での17時からの総会は途中からの参加になりましたが、議事内容と進行等を拝見させていただきました。春日部地区浦高会の状況と比較しながら総会資料等を拝見しました。議案は全て可決されました。

◇ ◇

◆第一号議案 事業報告及び決算報告(案)

コロナ期間は総会が開催されなかったとのことで、令和2(2020)年度からの報告になっていました。

◆第二号議案 2023年度事業計画及び予算(案)

10月の西部浦高会イベント参加から始まり、各地域職域同窓会との交流が深いことを知りました。予算規模は約200万円で、当春日部地区浦高会の3倍強でして会員数もそうなのですね。

◆第三号議案 役員人事(案)

名誉会員・特別会員・顧問が8名、会長1名、副会長が8名、常任理事が21名、幹事が20名、会計1名、監事1名、事務局長・次長・局員が3名で合計63名という大所帯の役員に驚きました。また事務局に高68回の方がいらして驚きでした。

◇ ◇

議事を終えてご来賓のご挨拶では、野辺博浦高同窓会長からグラウンド人工芝化や男女共同参画苦情処理委員から出された「共学化」勧告などについての経過報告もありました。続いて白倉克典浦



高校長からはスライドも用いて「最近の浦高」が紹介され、さまざまな伝統行事が復活していることや生徒たちの勉強スタイルが披露されました。

懇親会の中で、来年は春日部地区浦高会でも白倉校長先生に「浦高生たちの様子」をお話しいただきたい旨をお伝えしました。

記念講演会では、さいたま市長の清水勇人様から「さいたま市の展望」とのテーマで現状と未来について大変興味深いお話を伺わせていただきました。トップセールス凄いですね。



18時30分からの懇親会では、幹事の菊池俊秀さん(27回)が創業された(株)氷川ブリュワリーの「浦高麦酒」で乾杯し、交流の深い地域職域同窓会の会長等からの来賓挨拶があり、和気あいあいとした流れになりました。進行役の川島利雄さん(19回)は会場の「新道山家」三代目とのことで楽しく宴会を盛り上げてくださいました。大宮浦高会の中には大滝酒造さんもあり「九重桜大吟醸」も味わいました。美味しい料理とお酒に舌鼓を打っていると、芸者さんの舞が始まり、あっという間に2時間半の懇親会がお開きとなりました。



「浦高麦酒」



芸者さんの舞

◇ ◇

懇親会の冒頭に「大宮浦高会」設立時、45年前のお話が顧問の林正さん(高3)から「大宮浦中会だより(第1号)」とともに披露されました。

「今村会長から大宮浦高会の設立当初のことを話してほしいと言われて、この便りを思い出してお持ちしました。私は高校3回卒ですが、入学したのは旧制の浦和中学校でした。4回生までが浦中に



総会次第と「大宮浦中会だより」

入学し、新制高校になって浦高で卒業しました。私の父親も浦中生(18回)でしたので、昭和53年に大宮浦中会が設立される時に会長として名を連ねています。面白いのは、新制浦高を卒業した者は浦中会には入れないというような話もあり、私は入学が浦中だったと主張して入会した覚えがあります。総会では、在勤者を会員とすることとし、「(将来は事務局の陣容を整えて浦高卒の方々の入会を期す)というようなこともありました。(以下略)」とのことのお話に45年という歴史の重みを感じました。今回は、さまざまなことを学ばせていただきました。